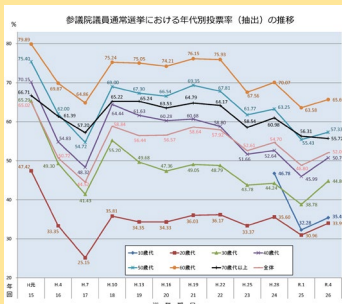


～総務省からのお知らせ～

参議院議員通常選挙における年代別投票率の推移を更新しました

参議院議員通常選挙における年代別投票率の推移について、第26回参議院議員通常選挙の結果を反映しています。全国の46,016投票区の中から、188投票区（47都道府県×4投票区）を抽出し、調査したものです。詳細は下記URLからご確認ください。

【公開ページURL】 https://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/news/sonota/nendaibetu/index.html



政治家の寄附禁止に係る啓発へのご協力をお願いします

年末年始はお歳暮やお年賀など贈り物の機会が増える時期です。先日、政治家の寄附禁止に関する通知を発出しておりますが、各団体で発行される広報誌、HP、SNS等、各媒体を活用した積極的な啓発へのご協力をお願いいたします。

※広報誌の原稿データは、事前にご相談の上、ご利用いただくことができます。

【公開ページURL ※12月号参照】 https://www.soumu.go.jp/menu_news/kouhoushi/koho/index.html

～明るい選挙推進協会からのお知らせ～

明るい選挙啓発ポスターコンクールの受賞作品が決定しました

本年度は全国の小中高校生約11万6千人からご応募いただき、去る10月26日に中央審査を行いました。市区町村及び都道府県での審査を経て選ばれた900点以上の力作の中から、文部科学大臣・総務大臣賞（連名）18作品、(公財)明るい選挙推進協会・都道府県選挙管理委員会連合会会長賞（連名）60作品を決定しました。

大臣賞の作品及び会長賞の受賞者一覧は、協会のホームページからご覧いただけます。また年明け1月下旬には大臣賞・会長賞作品を収録した「全国優秀作品集」を、全国の選挙管理委員会にお送りする予定です。

「市区町村明推協研修会等開催支援事業」の御案内

市区町村の明るい選挙推進協議会や白ばら会、若者選挙啓発グループが行う研修会や講演会等にかかる、講師の謝金・旅費、及び会場費の一部または全部を助成しています。最近、来春の統一選に向けた研修会などの申請をいただくようになってきています。本事業はオンラインによる研修会（講演会）も受け付けておりますので、ぜひご利用ください。

【問合せ先】（公財）明るい選挙推進協会Tel：03-6380-9891

主権者教育だよりの情報掲載について

主権者教育だよりでは、主権者教育や選挙啓発に関する総務省や各選管などの取組みを広く情報発信しています。自分たちの取組みやイベントを紹介してほしいという希望にも可能な限りお応えしますので、ぜひご連絡ください。なお、配信は毎月月末を予定しています。

～若者向け啓発活動紹介～

大学祭で選挙啓発（石川県選挙管理委員会）

石川県選挙管理委員会では、若年層の政治・選挙意識高揚を図るため、大学所在地の市選挙管理委員会や若者啓発団体「金沢市選挙サポーターE7」と協力し、県内3大学の大学祭で「明るい選挙啓発ブース」を出展しました。

投票率が低い10代、20代前半への啓発はさることながら、親子で来場する地域の方々に対して、親子連れ投票の啓発を行う場にもなっています。

ブースでは、選挙に関するクイズや計数機体験、明るい選挙啓発作品の展示、七つ道具の展示、ご当地めいすいくん「ひやくまんごっくん」の着ぐるみとの写真撮影等を実施しました。コロナ禍により3年ぶりの実施となりましたが、当日は多くの方々にご来場いただきました。

県民の方々と直接時間をかけてコミュニケーションをとることができる貴重な機会であるため、今後も継続して実施していきたいと考えています。



▲明るい選挙啓発ブース



▲ひやくまんごっくん

～主権者教育アドバイザー紹介～

令和4年11月10日（火）に静岡県にて講演しました！

主権者教育アドバイザー 渡辺 嘉久（読売新聞東京本社紙面審査委員長）

静岡県森町で行われた県西部明るい選挙推進協議会研修会の講師に招かれました。参加者約70人に、高校の出前授業で行う模擬選挙を体験してもらいました。コロナ対策で発行した国債の償還を巡り3候補が争う——との想定です。参加者は「18歳」に戻って各候補の主張を吟味し、付箋の「一票」をホワイトボードに貼り付け、投票します。当選したのは「5年の臨時増税で償還」を掲げた候補でした。現実の高校生は「増税せず60年で償還」を選んだと紹介すると、驚きの声があがります。「なぜ自分の世代へのツケ回しを認めるのか」——こんな疑問に対しては世論調査のデータも示しながら、若者の政治意識を解きほぐしました。参加者からは模擬選挙に関する質問があり、モデル授業実施を提案させていただきました。世代を超えて政治を考える機会が増えることを期待しています。



▲参加者は「18歳」に戻って考えた ▲付箋の「一票」を投じる参加者

【問合せ先】

総務省自治行政局選挙部管理課選挙啓発係
中南・林・小菅 Tel：03-5253-5574 FAX:03-5253-5575